

大学生と考える食品安全～カフェインをテーマに～ 「身体、ごまかしてない？」／「本当に必要？そのカフェイン」

名古屋市保健所（愛知県）・食品安全委員会

名古屋市と食品安全委員会は、令和元（2019）年8月に共同で、食品・栄養学を専攻する大学生と食品の安全に関する意見交換会を開催しました。

意見交換会は、まず食品安全委員会から食品の安全に関する基本的な考え方（リスクアナリシス）とエナジードリンクやサプリメントによる過剰摂取が懸念されているカフェインについて、次に名古屋市保健所から名古屋市における取組について話題を提供し、質疑応答を行いました。

続いてグループに分かれ、カフェインの過剰摂取について注意を促すポスターのデザイン案を作成しました。

（カフェインで）「身体、ごまかしてない？」、「本当に必要？そのカフェイン」（そのカフェイン、摂る必要ある？）など、大学生らしいキャッチコピーが考案され、そのキャッチコピーに印象的なイラストを組み合わせて、同世代の若者に一目で伝わるデザインに仕上げました（今回考案されたデザイン案からポスターが制作され、今後、名古屋市の啓発活動で活用される予定です）。

大学生からは、「カフェインという身近なものでも、摂りすぎると危険なことを知ることが



グループワークの様子



グループワークの成果物



食品安全委員会からの情報提供



名古屋市、食品安全委員会の職員を囲んで意見交換

できてよかった」、「他大学の学生と意見交換することで、自分では気付かなかった視点を得ることができた」、「食品の安全性についての情報を伝えることの難しさが良く分かった」などの感想が聞かれました。カフェインの過剰摂取について情報を聞くだけでなく、それを同世代の若者にどのように伝えるか、グループワークで考え、工夫することで、「食品の安全について正しい知識を得ることの重要性、伝えることの難しさ」が分かったようです。

この意見交換会の経験を友人らと共有するだけでなく、将来、社会人として、それぞれの立場から食品の安全について正しい情報を発信してくれることが期待されます。

食品安全委員会は、今後も、リスクコミュニケーションを通して、若い世代への食品の安全に関する正しい知識の共有に努めていきます。